

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	ごみ焼却に伴う環境維持事業			事業コード	1422
担当課等	所属名	環境部 クリーンセンター	担当係名		
	課長名	田中茂行	担当者名	大森賢一郎	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	環境との共生	コード 6	施策	生活環境の保全	コード 1
	基本事業	環境衛生の確保	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 2項 3目 ごみ焼却事業(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 10年度～)					
事務事業の概要	クリーンセンター公害防止協定に基づき、ごみ焼却施設からの排ガスや施設周辺の大気を測定し、ごみの安定燃焼と適切な排ガス処理等のため測定装置の維持管理を行い、もって施設周辺の環境維持と住民への情報を提供するものである。					
根拠法令等	クリーンセンター公害防止協定、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第1項・第2項					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
公害防止協定締結(平成9年12月4日)によって、平成10年、クリーンセンター操業に伴って開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
成果指標A(基準値超過)について、これまでの職員の努力が評価されると共に、職員のさらなる努力に期待が寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
施設全般において経年劣化による老朽化が進行しており、緊急修繕も多くなりました。機器更新に係る費用負担が増大する傾向にある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	施設周辺住民。 排ガス及び大気測定装置の維持管理と状況を把握するための調査及び測定。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 周辺住民(人口)	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 排ガス及び大気環境測定、測定装置の保守点検を委託と直営で実施 (委託料: 千円) ・環境モニタリング調査 4,662 ・塩化水素測定装置保守点検 4,410 ・ばいじん濃度計保守点検 788 ・煙道排ガス測定装置保守点検 3,035 ・定点観測所大気測定装置保守点検 3,360 ・気象観測装置保守点検 256 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年度と同様。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 大気・排ガス等の調査測定項目	単位	個
				B. 測定装置の保守点検等業務数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	測定装置の保守点検を行い正常な稼働状態を維持し、排ガスや施設周辺の大気を調査・測定するとともに、周辺住民にその状況について情報提供することによって、ごみ焼却に伴う環境影響について住民の健康不安を取り除く。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 基準値超過 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				B. 住民からの苦情 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input checked="" type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	環境衛生が守られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	焼却処理施設での年間処理量(単位: t) 資源ごみ処理施設での年間処理量(単位: t) 粗大ごみ処理施設での年間処理量(単位: t) 生活公害に関する苦情件数(単位: 件) 市営墓園利用率(市営墓園使用区画数/市営墓園墓地数)(単位: %)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	周辺住民(人口)	人	23511	23,275	23,275	23,114	23,114	23,114	25年度 23,114
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	大気・排ガス等の調査測定項目	個	65	58	58	62	63	69	25年度 62
活動 指標B	測定装置の保守点検等業務数	件	6	6	6	6	6	6	25年度 6
活動 指標C									年度
成果 指標A	基準値超過	件	0	0	0	1	0	0	25年度 0
成果 指標B	住民からの苦情	件	0	0	0	3	0	0	25年度 0
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	19,243	17,214	16,779	16,511	15,818	15,818	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	19,243	17,214	16,779	16,511	15,818	15,818	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	19,243	17,214	16,779	16,511	15,818	15,818	*****
	延べ業務時間数	時間	1,904	1,921	1,883	1,876	1,876	1,876	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	7,616	7,684	7,532	7,504	7,504	7,504	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	26,859	24,898	24,311	24,015	23,322	23,322	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 施設の運転管理について、環境影響が極力排除された状況であることの確認がなされ、ごみの適切な焼却処理が実現していることで環境衛生が守られている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくていいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 公害防止協定の見直しがない限り継続する。 ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: クリーンセンター操業に伴う周辺地域への環境影響の評価を実施し、調査・測定項目等の見直し合理化を図る。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 公害防止協定に抵触することになり、地域住民との相互信頼を損なうおそれがある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 環境企画課「大気汚染常時測定事務」 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 測定の目的・項目、範囲が一致していない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 現状の調査・測定項目及び保守点検について、必要最小限の実施項目を盛り込んだものであることから、これ以上の削減は困難である。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 排ガス及び大気について常時監視している測定項目があり、担当職員の事務処理に係る延べ業務時間の削減は困難である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公害防止協定に基づいて行う事務が含まれている事業であることから、適正であると判断される。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 公害防止協定に基づいて行う事務が含まれている事業であることから、適正であると判断される。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 現在の公害防止協定に規定されている調査・測定項目の見直しがない限りにおいては、当該事務事業の変更・廃止・拡充はないものとする。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 各測定項目の合理化等のためには、公害防止協定の改正が大前提となることから、協定値の遵守を続け、地域住民の信頼を積み重ねた上で、それに係る事務手続きをどのように進めるか具体的に検討し住民に説明する必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>市と地域との公害防止協定に基づいて行う事務事業であり、誠意をもって対応し、信頼を確保すべきものであることから、今後とも適正に進めていくことが要求される。</p>							
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携							
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止								